



▲大人への節目 成人式(1月10日)

市民会館で成人式が行われ、新成人658人が出席しました。「自分の可能性を信じて飛躍していきたい」と誓いの言葉を述べました。

まちの話題や出来事を写真で紹介

ふれあい宅配便

▼観光大使にサッカー選手 加藤康弘さん

(12月28日)

蒲郡市を広くPRする観光大使として、蒲郡市出身でプロサッカー選手として活躍している加藤康弘さんが委嘱されました。加藤選手は「サッカーで得たつながりを生かして、子どもたちに夢を与えたい」と語りました。



三河地震を
忘れない

1945(昭和20)年1月13日、西浦町沖合いを震源地としたマグニチュード6.8の直下型大地震が発生しました。市内では形原町で特に被害が大きく、233名の方が犠牲となりました。発生から71年、この災害を忘れてはならないと、さまざまな形で思いを伝えます。



▲「わすれじ」しるしの前で誓う(1月11日)

形原神社にある三河地震の慰霊碑「わすれじの碑」の前では、東日本大震災の翌年から再開した慰霊祭が行われ、遺族や地域住民など40人が参列しました。



▲今だからこそ「親子で学ぶ」

▼「手作りの紙芝居」で当時を伝える(1月11日)

生命の海科学館では、Dr.ナダレンジャーによる自然災害教室が開催されました。手作りの実験道具を使って、脅威の自然災害が発生するメカニズムを親子で学び、防災意識を高めました。

また、形原五七巳午会紙芝居同好会が、震災当時の様子を住民から聞き取り1つの話にまとめた、手作りの紙芝居「隠された災害 三河地震の記憶」を上演しました。

